



2010年9月 第342号

# スズキ労連

2010年  
9月号

静岡県浜松市南区小沢渡町12-1  
電話(053)447-3079  
スズキ関連労働組合連合会  
発行人 加藤幸博  
編集人 光田 玄

## 2010年スズキ労連労使会議 開催

厳しさが増す国内外の競争に生き残るために・・・  
スズキグループの現状と課題について労使の共通認識を深める。



スズキ株式会社  
相澤取締役専務役員(生産本部)の講演



スズキ株式会社  
佐藤常務役員(国内営業本部)の講演

**<組合側>** 2010年 労連労使会議  
組合側から31名が参加 於:グランドホテル浜松 ゲストハウス

**<会社側>**  
会社側から21名が参加

8月3日(火)、グランドホテル浜松にて『2010年スズキ労連労使会議』を開催しました。スズキ労連では、加盟組合労使による「スズキ労連労使会議」を毎年定期的に開催しており、会議では労使の信頼関係をさらに深めるとともにスズキグループとしての会社施策の確認、労使での課題認識の共有化、労働条件向上、会社の業績向上について意見交換を行っております。

今回は、労使双方で52名が参加しました。2008年秋以降の世界同時的な経済危機に伴う深刻期からは脱しつつあるものの、円高進行による為替差損、各国政府の新車購入補助政策の終了による反動減などといった、スズキグループの先行きに対する不安材料が依然として拭い切れていない環境下において、次世代環境車へシフトすることによるサプライヤーへの影響、海外比率が高まる中で国内生産における雇用確保、今次春闘で進展した部品・輸送部門の年間所定労働時間短縮についての今後の展望、VWとの提携についての動向など多岐に亘るテーマについて意見交換しました。

また、スズキ(株)生産本部と国内営業本部から現在の取り巻く環境やグループの業績、現状の打開に向けた今後の取り組みについての講演をいただき、スズキグループが置かれている厳しい現状と課題について労使での認識を共有化するとともに、今後ますます厳しさが増していく国内外での競争に生き残るため、今まで以上に労使の一体感を強め、信頼関係を深めていくことの必要性について再確認しました。

### 《2010年 労連労使会議》

- ◇日時 2010年8月3日(火)
- ◇場所 グランドホテル浜松 スズキゲストハウス
- ◇出席者 組合側 31名 会社側 21名
- ◇内容

- 1)スズキ労連 加藤会長 挨拶
- 2)スズキ株式会社 内田 博康 常務役員 (管理本部 副本部長)挨拶
- 3)自己紹介
- 4)スズキ労連の活動報告 根本事務局長
- 5)スズキグループ方針説明
  - ①講演「国内生産および海外生産の状況と今期の生産本部の取り組み」  
スズキ株式会社 相澤 直樹 取締役専務役員
  - ②講演「国内市場の状況と今後の国内販売戦略について」  
スズキ株式会社 佐藤 薫 常務役員
- 6)質疑応答
  - ①次世代環境車へのシフトによるサプライヤーへの影響について
  - ②海外比率が高まる中で国内生産における雇用確保について
  - ③年間所定労働時間短縮の今後の展望について
  - ④VWとの提携の進捗状況ならびに今後の方向性について
  - ⑤プラグインハイブリッド(PHV)車について
  - ⑥車両積載車の路上積み下ろしについて
  - ⑦販売代理店における月末登録の平準化について

## 自動車総連 積立年金

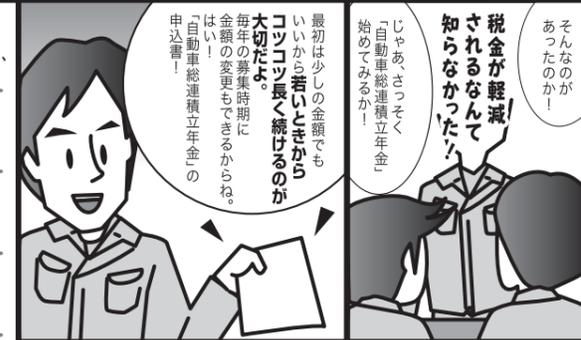
(全日本自動車産業労働組合総連合会)

加入は早く、  
若いうちに!

口数増やしてゆとり  
あるシルバーライフを!



- 1 目的に合わせた2コース 個人年金保険料控除の対象となる「個人年金コース」と、途中払い出しが可能な「一般積立コース」
- 2 自由に選べる積立コース 月々3千円から、ボーナスは3万円からOK
- 3 積立途中でも口数を自由に変更出来ます 年2回→春・秋の加入者受付期間中
- 4 予定利率は年1.25%<sup>(※)</sup> (※)予定利率については将来変更される場合があります。



制度の詳細についてのお問い合わせは

**積立年金** 明治安田生命・・・0120-827-050 (平日営業時間9:00~17:00)  
(自動車総連担当)  
自動車総連・・・03-3434-7641 お申込は・・・所属組合役員まで

新規申込期間 **積立年金** 2010年4月1日~5月20日 9月1日~11月6日の年2回  
加入日(責任開始日)2010年8月1日 加入日(責任開始日)2011年2月1日

【既に参加いただいている皆様へのご連絡】 引越の際は、積立年金の住所変更手続を忘れずにお願致します。  
お手続きは上記連絡先まで!

制度内容等詳細はパンフレットをご覧ください。



“築こう! 希望が持てる社会を  
踏み出そう! 明るい未来に向けた一歩を”

## 第39回定期大会開催

次号は定期大会特集号となります。

- ◇日時 2010年9月12日(日) 9:00~14:00
  - ◇場所 浜松市商工会議所・マイカホール
  - ◇内容
- 【報告承認事項】**
- ①第38期活動経過報告
  - ②第38期会計決算報告
  - ③第38期会計監査報告
  - ④あり方・財政検討委員会答申報告
- 【議件】**
- ①スズキ労連 規約改定の件
  - ②退職金積立金の一般会計戻し入れおよびスズキ労連会計処理規定改定の件
  - ③第39・40期運動方針(案)の件
  - ④第39・40期役員定数 役員選挙の件
  - ⑤第39期予算(案)の件

### 【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望が ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8063 浜松市南区小沢渡町12-1  
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838  
e-mail : mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>  
\*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関誌  
共通パスワード・・・ saw2007

【編集後記】今号はおそらく小生が編集する最後の労連機関誌となります。さまざまな業務に忙殺された結果、労連の広報活動を刷新し、みんなで楽しめる機関誌づくりを目指した当初の目標もむなしく、いつもワンパターンなネタ記事ばかりの機関誌となってしまいました。それでも目を通して頂いた方々に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。(次長2)



仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活・・・悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073  
\*月~金 9:00~19:00  
相談無料・秘密厳守

# 2010年 スズキ労連労使会議 質疑応答内容(抜粋)

**Q1. 組合側**  
今後、次世代環境車へシフトした場合、今ある既成の自動車部品が無くなるのが考えられる。その場合、部品会社の雇用にどのような影響があるか伺いたい。

**A1. 会社側**  
非常に難しい問題だが、電気自動車については今検討に入っただけでよく見極められていない。ボデーについては大きく変わらないだろうが、中のエンジン部品については一変するため、電気になった時どんな部品を作っていくのか考えていかなければならない。ガソリンからモーターにデバイスが変わるので、徐々に電気自動車化に向けた流れに追従した考え方が必要になると解釈している。当社についても流れの方向をキャッチしながら設計、商品開発を行っていく必要がある。足回りについても多少変化は出てくると思う。

**Q2. 組合側**  
為替の円高傾向に歯止めがかからないが、この影響でメーカーさらに海外生産へシフトしていくのか、それとも国内生産を維持していくのか伺いたい。

**A2. 会社側**  
安価な自動車を今後も国内で作るべきか、十分検証しないといけない。

**Q3. 組合側**  
関連会社の所定内労働時間の問題について、10年以上所定内労働時間を短縮することができなかったが、今年度の春闘を通して1日(8h)時短が進展したことに感謝している。今後もメーカーの所定労働時間に少しでも近づけたいという思いは変わらない。今後の見解について伺いたい。

**A3. 会社側**  
関連会社の所定労働時間短縮については、いかに生産性をあげるかということ。稼働率を上げるなどの改善で生産性を高めれば、時短進展にも繋がるのではないだろうか。

**Q4. 組合側**  
昨年、VWとの提携が成立し今年にはVW関連の組織も確立された。現時点でのVWとスズキの間で行っている業務内容と進

捗状況、また今後の方向性を伺いたい。  
**A4. 会社側**  
それまでの商品計画について、お互いにさまざまな新商品の計画があり、その一つ一つの歯車を合わせながらVW提携推進部にて方向性を調整している。

**Q5. 組合側**  
プラグインハイブリッド(PHV)車について状況と商品化の目処について伺いたい。

**A5. 会社側**  
プラグインハイブリッド(PHV)車(=スズキでの呼称「レンジエクステンダー」)は 現在22台を代理店に配車し、走行実験を行っている。システムとしては一番いい。電気自動車(EV)は価格や走行距離で課題が多い。スズキのレンジエクステンダーは660ccのエンジンを積み、発電しながら走る。ただしコスト面が課題でバッテリーの価格と販売台数が大きなポイント。インフラ整備もあり普及には時間が掛かる。

**Q6. 組合側**  
自動車総連内では積載車の路上での積み下ろしについて情報交換している。現状と難しさを教えて欲しい。

**A6. 会社側**  
東京、大阪などの都市部では交通の妨げになるということで、クレームも発生している。スズキ輸送梱包では営業所内にも入れる小さいトラックに積み替えて輸送するといった対応をしている。代理店にも誘導するように声掛けしている。スズキ代理店には小さな営業所が多いので、これからはトレーラーも入る大きな拠点作りに取り組む。

**Q7. 組合側**  
月末集中登録の平準化の取り組みの現状は?

**A7. 会社側**  
各社とも月末登録が40%以下で推移している。以前のように月末集中の状況にはない。自社受けが少なくなったことも大きな要因。スズキ、ダイハツ2社が基準値に入ると全体も基準値に入る傾向にある。

## 特定非営利活動法人(NPO法人) 交通遺児等を支援する会 第7回チャリティーバザー 物品提供のお願い

「交通遺児等を支援する会」では、前身である交通遺児母の会の活動を継続し、病気などにより経済的負担を強いられている母と子に対する「緊急一時貸付」・「越年助成金」を得るため、10月31日(日)、東京・新宿のエステック情報ビル「エステック広場」でチャリティーバザーを計画しています。自動車総連・スズキ労連はこの活動を支援するために今年もバザー提供品の募集をいたします。皆様から暖かいご支援を宜しく願います。

- <ご提供頂きたい品物>
- ・食料品(生鮮食品を除き、保存可能な物)お茶、缶詰等
  - ・日用品 タオル、シーツ、石鹸、玩具、敷き毛布、美術工芸
  - ・衣類(新品に限る)靴、バック、アクセサリ

物品提供締め切り日近です! ぜひご協力下さい!  
9月24日(金)までにスズキ労連事務局まで

## 第38期ヤングリーダー研修会開催! 47名が参加

第38期ヤングリーダー研修会を7月31日(土)・8月1日(日)の2日間にわたり浜松市の「呉竹荘」にて開催いたしました。今回は、22の単組・支部より47名の若い参加者が集まりました。1日目の講義では、「アサーティブネス」について学習。アサーティブネスとは「自己主張すること」。(自分の意見を押し通すことではありません。)相手の権利を侵害することなく、誠実に、率直に、対等に自分の要求や意見を表現することです。講義は、自分のニックネームを考える事から始まり、2人1組になったり、3人グループになったり、参加者同士が常に対話をする形式で進められていきました。最初は緊張気味で少し気恥ずかしそうな様子も見受けられましたが、講師の先生の巧みな進行によりすぐに打ち解けるあたりは、さすが「ヤングリーダー」。早速、アサーティブネスなスキルを身につけ、積極的に会話を交わしていました。2日目には、労金の「クレサラ問題」や「金利」についての講義、全労済の各種保障の説明を熱心に受講しました。2日間を通し、一つの目的であった他労組との交流についても大きな成果をあげた今回の研修会。今後、労連間交流が広がるきっかけにもなれば幸いです。



誠実な自己主張が大切です。



2日間の研修、お疲れ様でした。

## 2010自動車総連福祉カンパ

皆様からのご理解とご協力、  
まことにありがとうございました!!

毎年7月に展開させていただいている自動車総連福祉カンパ。今年も皆様のご理解とご協力のもと、例年以上のカンパ金が集り、最終の集計で、スズキ労連合計 **¥5,096,384**となりました。このカンパ金は自動車総連で集約され、総連が毎年行っている社会福祉施設や団体への車両・物品寄贈の拠出金として使われます。今年もスズキ労連が窓口となり、以下の社会福祉施設に車両を寄贈することとなりましたので報告いたします。

- 遠州精神保健福祉をすすめる市民の会 E-JAN
  - \*精神障害者社会復帰施設 (浜松市中区)
  - ・寄贈車両: ワゴンR
  - ・推薦者: 田口顧問
- 特定非営利法人 うたしあ
  - \*地域活動支援センター (島田市金谷代官町)
  - ・寄贈車両: エブリイワゴン
  - ・推薦者: スズキ労働組合 相良支部
- 地域作業所 サチラス
  - \*知的障害者援護施設 (神奈川県平塚市)
  - ・寄贈車両: ワゴンR
  - ・推薦者: スズキ販売労働組合 自販湘南支部
- 社会福祉法人 旭川旭親会 旭川福祉園
  - \*知的障害者援護施設 (北海道旭川市)
  - ・寄贈車両: エブリイ
  - ・推薦者: スズキ販売労働組合 旭川スズキ支部

## 鉄人世代

<田口章ブログ8月13日記事より抜粋>

静岡の「ガンダム」が人気ようですが、私にはピンときません。私は「鉄人世代」。幼い頃、鉄人28号のオモチャで遊んだものです。今日は、一度行きたいと思っていた、神戸市長田区を訪れました。1995年の冬、震災で大きな被害を受けた長田区。当時、私もボランティアとして、1週間ほど入りました。あれから15年。新しくなったまちの象徴として、昨年、鉄人28号がお目見えしました。鉄人28号の力強い姿と、復興したまちなみがダブリました。その後、震災を記念して造られた「人と防災未来センター」を訪問。震災への備えの重要性を再認識しました。

## 生活保護自立支援

<田口章ブログ8月31日記事より抜粋>

(釧路市の「生活保護受給者の自立支援事業」を視察して) 釧路市の生活保護受給世帯は5940世帯、住民の約5%とたいへん高い率となっています。浜松市が約4800世帯、0.8%ですからその多さがわかります。そうした生活保護受給者の中で、可能な人には社会参加をしてもらおう...ということで、ボランティアなど15事業を行っています。事業を通して、生活保護受給者だけでなく、ケースワーカーも元気になっているようです。写真は、釧路市の福祉事務所が、これまでの取り組みをまとめた本です。釧路市の取り組みは、けっこう有名で日本中から視察調査に来るようです。「働く喜び」をみんなが感じられる社会をめざしたいと思います。

## RENGO 核兵器廃絶!! 広島・長崎平和行動に参加

連合は8月4日(水)、「核兵器廃絶2010平和ヒロシマ大会」を開催し、スズキ労連からは光田事務局次長が参加いたしました。また、8月7日(土)には、「核兵器廃絶2010平和ナガサキ大会」を開催し、スズキ労連からは白井中執が参加いたしました。連合の古賀会長はヒロシマ平和大会での冒頭の挨拶で、「本年5月ニューヨークの国連本部で開催されたNPT(核拡散防止条約)再検討会議での3団体共同行動のNGO平和集会・平和アピール行進・原爆写真パネル展を実施したことや、潘基文(潘・キムン)国連事務総長宛の『核兵器廃絶1,000万署名』を提出した。特にNPT再検討会議の合意文書に、日本政府が提案した『核兵器保有国が核軍縮につながる具体的進展状況を2014年の再検討会議準備委員会に報告する』旨の項目が取り入れられたことは、被爆国日本の果たした大きな成果である。」と評価しました。また、「これまで要求してきた原爆症認定、在外被爆者、被爆二世・三世や被爆体験者などの被爆者施策の充実を強く求めていく」と決意を語りました。スズキ労連は毎年各平和行動に参加し、核兵器廃絶への願いを訴え続けております。今後も、核兵器廃絶と平和社会の実現をめざして職場や地域で粘り強く取り組むとともに、連合、自動車総連や多くのNGOとも連帯し、ひとりひとりの声を大きくして政府への働きかけを強めていく活動に積極的に参画してまいります。



ヒロシマ大会で挨拶する連合 古賀会長 「長崎ピースウォーク」に参加した白井中執

## スズキ労連 組織内議員「田口 章」は考える。



「おもしろきこともなき世をおもしろく」  
「今より早いときははない」がモットーです。  
浜松市議会議員 田口 章



浜松市議会議員「田口 章」です。民間企業23年間のサラリーマンの視点で、企業人として、生活者として、10年、20年後の浜松のために、身近な政治改革にチャレンジします。

田口章の「創ろう! 元気な浜松」  
http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/

労連HPからもアクセスできます。

田口章 ブログ更新中